

電気設備挑む新分野

1961年の創業以来50年以上の電気設備機器を開発・販売し、鉄道や電力などさまざまな産業を支えてきた篠原電機(大阪市北区)。近年は大きな情報や管理するデータセンター関連に力を入れるなど、時代のニーズに応じた新分野に挑戦している。篠原基一郎社長(55)は「持続可能な開発目標(SDGs)やユニバーサルデザインへの貢献」につながる商品開発に力を入れていきたい」と話す。

【聞き手・谷田開美、写真も】

けいざい最前線

—創業者の父耕一さんから何を学びましたか。

◆入社してすぐ、商品の組み立て作業や出荷を担う倉庫係を命じられました。社内でも最も厳しくと言われる職場です。だからそそ会社の問題点がよく見えました。例えば、倉庫はものが雑然と置かれており、作業するには非効率でした。後に自動倉庫システムを導入し合理化を図る際に、その経験が役に立ちました。今振り返ると、父は「現場が大事」「現場で考えろ」と教えたのだと思います。子どもの頃から、将来は会社を継ぐことを意識し、父の

近年はデータセンター関連

背中を見て育ちました。特に印象に残っているのは社員の話を傾聴する姿です。「社員を大切にしろが口癖でした。そして、社員がやりがいを持つて楽しく働けることを最優先に、社員の提案には全て耳を傾けるようにしています。——近年はデータセンター関連に力を入れていますね。

◆新型コロナウイルス禍で世界的に需要量が増加する中、大容量のネットワーク機器、サーバーを置くデータセンターの電力消費量が問題視されています。サーバーを適正な温度に保つために冷房を常時稼働させる必要があるので、そこで当社は、空調エネルギーを低減するとともに、高発熱なサーバーを液体に浸すことで冷却する液浸冷却システムの開発に着手しました。米国でも開発が進んでいます。が「まだ十分にキャッチアップできる」挑戦すべきだと社員から声が上がったことがきっかけでした。

篠原電機

篠原基一郎社長



しのはら・もといちろう 1966年大阪市生まれ。大学卒業後、証券会社勤務を経て、92年に篠原電機入社。経営開発室長を歴任。2014年10月、創業者の父耕一さんから社長を引き継いだ。

◆データの省エネルギー効果がありますか。

◆空気の約3000倍も熱を奪える沸騰冷却用液体を採用し、実験では消費電力を約90%削減できることが分かりました。2003年ごろの提供を目標としており、既に問い合わせをいただいています。

◆社会のニーズに応えることを使命としてきました。機歩道を渡る視覚障害者や高齢者、歩行者に配慮した信号装置「LED付音響装置」の開発も、その一つです。

◆歩行者用信筒は横断歩道を渡った先に取りあらず、視覚障害者からは「非常に見えづらい」との声が上がっていました。実は視覚障害者のうち全盲の方は数とされ、ほとんどの方は弱視、と言われている。書道芸を音で知らせる音響信筒も取りますが、近隣への騒音に配慮して早朝や夜間は作動しないようになっています。これらへの対策が求められています。

◆そうした問題を「LED付音響装置」はどのように解決しましたか。

◆社会のニーズに応えることを使命としてきました。機歩道を渡る視覚障害者や高齢者、歩行者に配慮した信号装置「LED付音響装置」の開発も、その一つです。

◆歩行者用信筒は横断歩道を渡った先に取りあらず、視覚障害者からは「非常に見えづらい」との声が上がっていました。実は視覚障害者のうち全盲の方は数とされ、ほとんどの方は弱視、と言われている。書道芸を音で知らせる音響信筒も取りますが、近隣への騒音に配慮して早朝や夜間は作動しないようになっています。これらへの対策が求められています。

◆そうした問題を「LED付音響装置」はどのように解決しましたか。

「LED付音響装置」を取り付けた3カ所の交差点について、設置前後の5年間の交通事故件数を比較したところ、人身事故が3割減り、中でも自転車や歩行者の事故は半減したという。視覚障害者や高齢者だけでなく、子育て世帯からも「子どもが盲を認識しやすい、安心感につながった」とな反響があった。誰が使いやすいユニバーサルデザインは、誰にとっても生きやすい社会につながる。篠原電機の今後の取り組みに注目していきたい。

問とこ

D付音響装置はどのように

12年に全国で初めて大阪市で導入され、現在は全国13カ所に設置されています。ハンディキャップのある方が安心して外出できるよう更なる普及に尽力していきます。

12年に全国で初めて大阪市で導入され、現在は全国13カ所に設置されています。ハンディキャップのある方が安心して外出できるよう更なる普及に尽力していきます。

12年に全国で初めて大阪市で導入され、現在は全国13カ所に設置されています。ハンディキャップのある方が安心して外出できるよう更なる普及に尽力していきます。

12年に全国で初めて大阪市で導入され、現在は全国13カ所に設置されています。ハンディキャップのある方が安心して外出できるよう更なる普及に尽力していきます。

12年に全国で初めて大阪市で導入され、現在は全国13カ所に設置されています。ハンディキャップのある方が安心して外出できるよう更なる普及に尽力していきます。

12年に全国で初めて大阪市で導入され、現在は全国13カ所に設置されています。ハンディキャップのある方が安心して外出できるよう更なる普及に尽力していきます。